

高齢者が住みやすい山梨づくり

「安心」を提供できる協同組合を目指して

高齢化社会を迎えた我が国において、山梨県は全国の中でも高齢化が進んでおり、協同組合山梨安心サービス(根津宏次理事長 組合員7社)は、高齢者に「安心」を提供し地域に貢献することを目的に、平成13年に県内の有志企業による異業種の協同組合として設立された。



高齢者交流施設「銀座街の駅」

組合では、高齢者交流施設「銀座街の駅」を平成17年に甲府市の銀座通りにオープンし、スマイルBOXや建築・安全・食事(外出)・生活の4部会に分かれての部会ごとのイベントなどの地域

住民や高齢者向けの様々なイベントを実施している。また、相談員による介護相談やパンフレット提供で介護情報を発信し、甲府市中心部の三世代交流型施設として子供からお年寄りの方まで幅広い層が利用し街中の新しい立ち寄りスポットとなっている。

甲府市介護サービス事業者連絡協議会が毎年開催している「介護健康フェアinこうふ」にも、複数の組合員企業が出展している。本年も2月23日(木)~28日(火)の土日を除く4日間、甲府市役所本庁舎で開催され、各組合員が福祉用具や介護食、介護ロボットの紹介など介護サービスに関する情報提供やPRを行い、介護だけでなく健康増進や介護予防についての知識の普及に努めていた。

根津理事長は、「組合として、これからも銀座街の駅や介護健康フェアへの出展等を通じて、介護相談に加え介護に関する各種提案を行っていききたい。



第16回介護健康フェアin甲府へ出展

これから一層進む高齢化社会に対応していくため、介護の方向性をしっかり把握しながら、最終的には人による人へのサービスとして、安心でき満足され喜んでもらえるサービスの提供に努めていき、高齢者が住みやすい山梨づくりの一翼を担っていきたい。」と今後の組合活動の方向性について述べた。